サンタ新聞

NPO法人チャリティーサンタ
年次活動報告書　2020.6 ～ 2021.5

Charity Santa

●目次

01. 活動総括・ハイライト
02. 数字で見るチャリティーサンタ
03. サンタクロース衣装の改善報告
04. 支部活動について
05. ルドルフ基金
06. サンタクロースからの手紙
07. 未来の手紙
08. ブックサンタ2020
09. 被災地サンタプロジェクト
10. 福島生き×活きキッズツアー
11. Santa Mothers Dreams
12. コラム
「体験」が子どもたちに与える効果
13. 企業との連携事業
14. 自治体との連携事業
15. メディア掲載実績
16. 活動協力・連携団体のご紹介
17. 寄付受付結果のご報告
18. 2020年度会計報告

01. 活動総括・ハイライト

思い出不足になりがちな子どもたちに、今こそ「体験」の機会を。

初めての「コロナ禍でのクリスマス」は、活動内容に沿った独自の感染対策をルール化し、無事に活動を終えることができました。

私たちは「この社会情勢下であるからこそ、思い出不足になりがちな子どもたちに体験を届ける必要がある」と議論を重ね、感染対策を徹底した上で各事業を行い、ブックサンタにおいては、過去最高の2万冊近い絵本が集まるなど、社会が子ども達を思いやる気持ちに後押しされ、「サンタクロース」の存在意義を改めて実感した1年となりました。しかしながら、毎年夏休みに実施をしていた「福島生き×活きキッズツアー」の中止・自治体やボランティアスタッフの所属する学校からの発令でクリスマス訪問の縮小をするなど、一部事業においては断念したものもありました。

2020年度の主なトピックス

- サンタクロース訪問は感染防止ガイドラインを作成して実施
- ブックサンタ2020 過去最高の2万冊の絵本が集まる！
- コロナの影響を受けた困窮家庭のクリスマス実情調査を実施。
- 一人親/子ども支援団体を通じて、支部のない地域にもプレゼント（絵本）を届けられるようになりました。

02. 数字で見るチャリティーサンタ（実績報告）

サンタになった人の数

1,262人

関係人数の合計

約2.3万人

届けたご家庭数

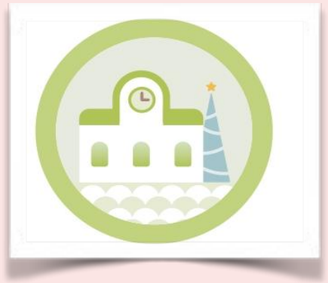
1,074軒

（内、要支援家庭 395軒）

子どもの人数

1,909人

（内、要支援家庭の子ども 662人）



保育園・幼稚園・育児サークル

養護施設・病院などへの訪問

33軒 764人

（内、要支援対象施設 16軒 340人）

サンタクロースからの手紙販売数

659通

（内、要支援家庭へのギフト522家庭）

ブックサンタで集まった絵本の数

20,376冊

Santa Mother’s Dream販売数

10 個

※コロナ禍により個別依頼のみ販売対応

企業連携数

13社

活動協力・ご協賛企業数

97団体

2020年度 寄付金総額 **20,833,762円**

03.サンタクロース衣装の改善報告 ～髭とマスクの両立は大変！～

感染予防のため、マスクと手袋、消毒用アルコールの携帯を必須に。

2020年度のサンタクロース衣装のテーマは「最大限の感染防止対策」でした。

サンタクロースには、髭の上からマスクを装着、これまでは任意着用だった「手袋」の装着を必須とし、移動中やご家庭に訪問する前にこまめに消毒できる「消毒用アルコール」の携帯など、いつも以上に荷物の多かったサンタクロース。

髭の上からのマスク装着は「息がしづらい」「メガネが曇る」といったトラブルもありましたが、付き添いのサポートサンタの介添もあり、無事にお届け完了。

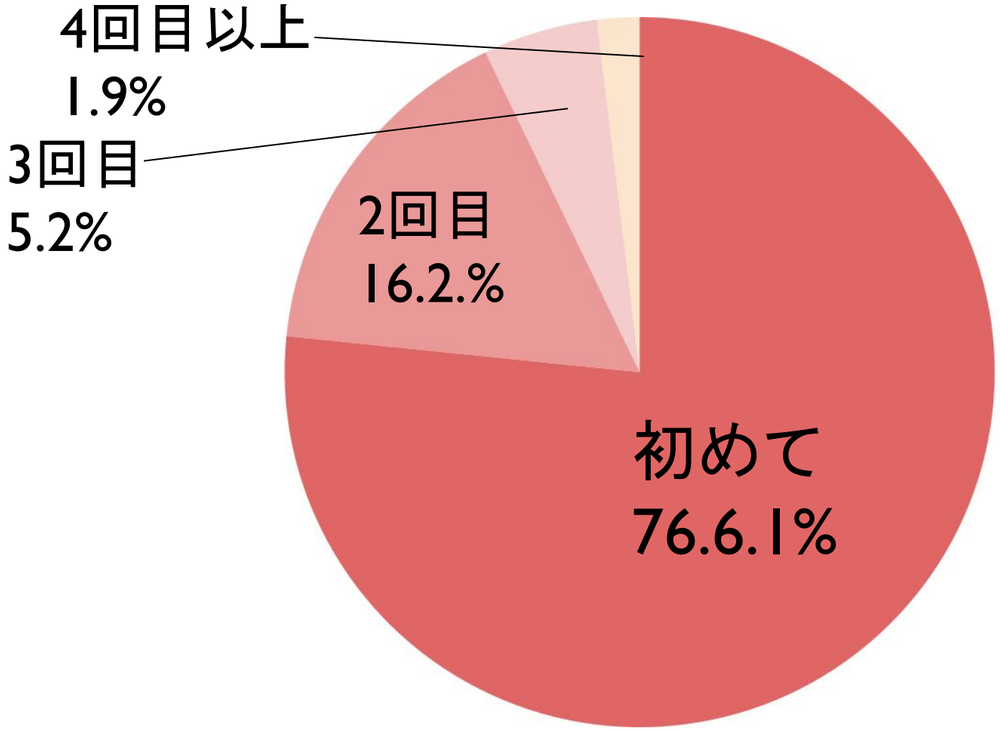
サンタクロースのみならず、訪問先のご家庭側にも、マスク着用や事前の消毒を実施いただき、一部ではオンライン対応も実施するなど、活動に対する双方の協力体制のもと、クリスマスのひと時を過ごすことができました。

04-01. ボランティアによる支部活動について

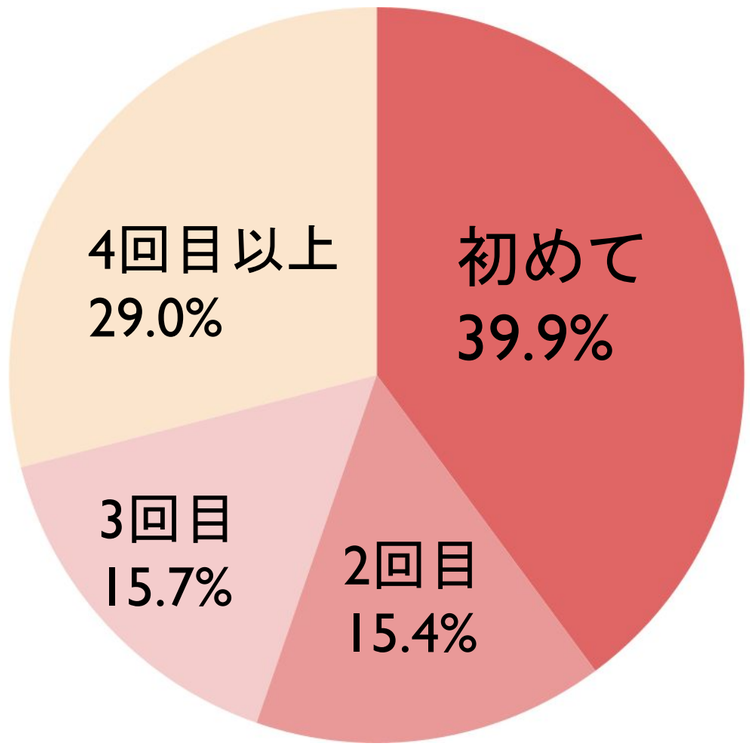
チャリティーサンタに参加する人ってどんな人たち？

Q.チャリティーサンタ のボランティアに参加するのは何回目ですか？ （回答数：1161人 2020年度申込み者アンケートから抜粋）

学生ボランティア



社会人ボランティア



A.学生は初めての参加が多く、社会人になると4年以上繰り返し参加する人が多い。

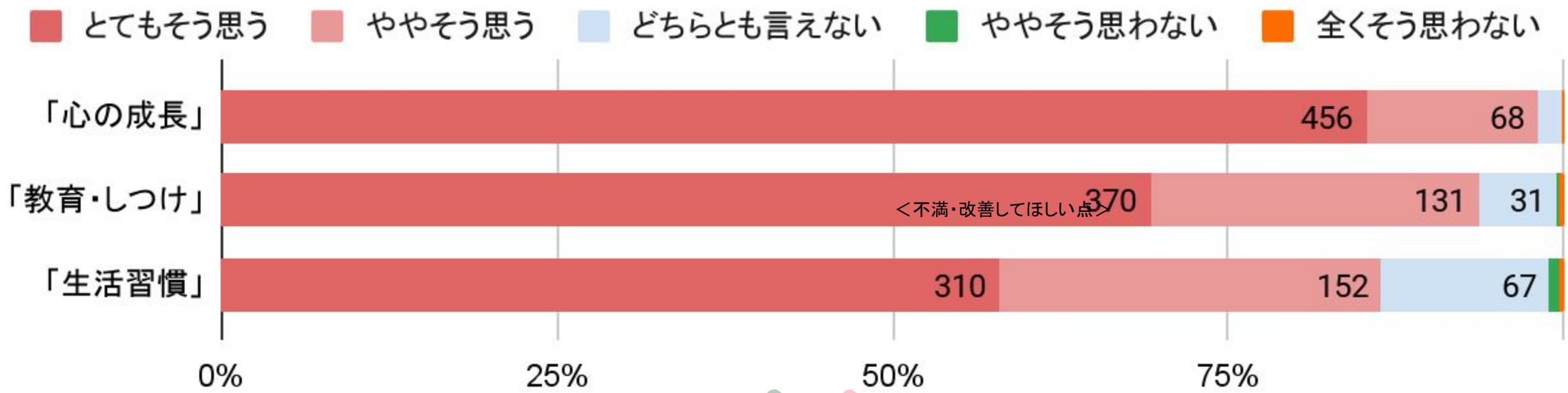
チャリティーサンタ に参加するボランティアの属性は、学生6割：社会人4割ほどの比率です。
学生は4年制大学の在校生が多く、卒業/就職などのタイミングで活動から離れる傾向があります。一方で社会人になると4回（4年）以上繰り返し活動に参加する層が3割弱あります。これには、学生時代にチャリティーサンタと出会い、社会人になってからも継続して活動しているボランティアが一定数存在していることも、社会人のリピート参加率が多い要因の一つです。

04-02.ご家庭へのサンタ訪問活動のアンケート結果

サンタ訪問によって最も良い影響を実感するのは子どもの「心の成長」

サンタクロース訪問の際のアンケート調査にて、「サンタクロースの訪問」がどの程度子ども達に影響を与えているのかを調査しました。
親がサンタクロースによって最も良い影響があったと感じるのは、自分を見守ってくれる存在に気づくことによる「心の成長」が大きく、
一方でしつけや生活習慣に関しては、一時的には改善するものの、普段の生活・しつけの状況によって左右されるという意見がありました。

＜回答数：535＞



＜「心の成長」に影響がある(ない)と思う理由＞

・サンタさんを信じる力は、将来、誰かからの愛情や信頼という見えないものを信じられる力になる気がします。そして、その力は優しさにつながっている気がします。娘が、いつか誰かの優しいサンタさんになれることを願い、今はサンタさんを信じられる優しい子に育ってほしいなと思っています。

・子どもはサンタさんから普段の行いを誉められ、更にその場でプレゼントまで頂けたことで、自分の普段の行いは見られていたんだと確信しました。クリスマスまでも良い子でいようと努力してましたが、クリスマス後もその気持ちに変わりはないようです。もちろん、いつも良い子でいられるわけではないですが、努力しようと自主的に思えることこそが子どもの成長には不可欠だと思います。チャリティサンタの取組は、子ども達の自主自律を後押しする取組であると思います。

＜「教育・しつけ」「生活習慣」に影響がある(ない)と思う理由＞

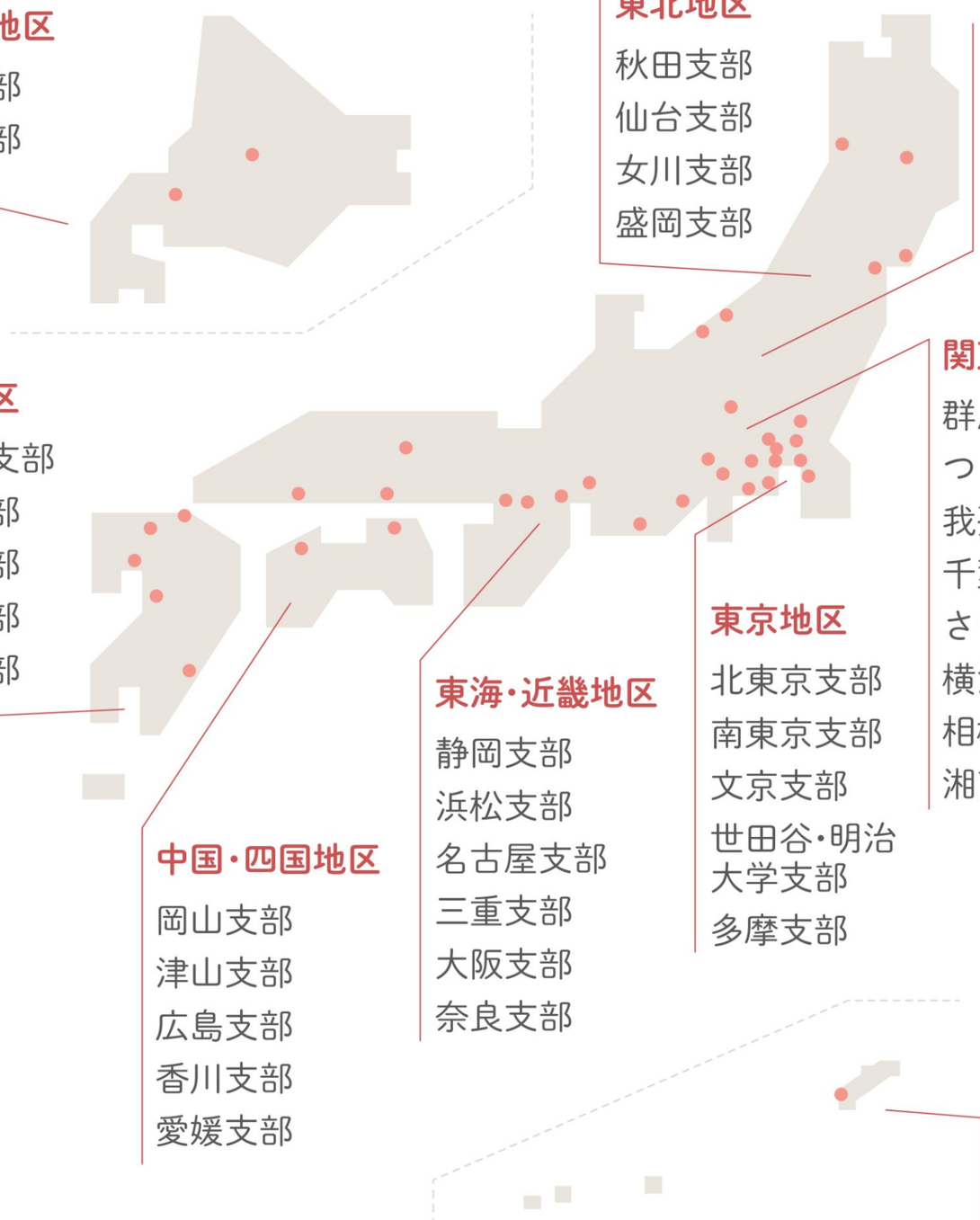
・一人でトイレに行けない小学二年生の息子が、サンタさんの励ましで、当日トイレに一人でいけました。行けないときもありますが、行ける回数がふえました。びっくりしました。ありがとうございます。

・「サンタさんって本当にいるんだ……」「私のこと見てるんだ」と娘がびっくりしていて、普段あなたが頑張っていることをちゃんと見てくれてるんだよ、夜ふかしや歯磨きしていないことも見ているよ、と私が伝えると頷いていました。常に自分を見守ってくれている人がいる、という認識を持ってくれたようなので、親としても嬉しかったです。

・サンタさんが言っても聞かないことは聞かないと思います（笑）それはサンタさんが良い悪いではなく、普段の躾からなるものだと思います。

04-03.サンタ訪問活動の総括

新たに4支部が活動開始。全国26都道府県39支部で活動しました。



北海道地区
札幌支部
美瑛支部

東北地区
秋田支部
仙台支部
女川支部
盛岡支部

甲信越地区
新潟支部
上越支部
甲府支部

関東地区
群馬支部
つくば支部
我孫子支部
千葉支部
さいたま支部
横浜支部
相模支部
湘南支部

東京地区
北東京支部
南東京支部
文京支部
世田谷・明治大学支部
多摩支部

東海・近畿地区
静岡支部
浜松支部
名古屋支部
三重支部
大阪支部
奈良支部

中国・四国地区
岡山支部
津山支部
広島支部
香川支部
愛媛支部

九州地区
北九州支部
福岡支部
佐賀支部
熊本支部
宮崎支部

沖縄地区
沖縄支部

サンタになった人
1,294人

届けたご家庭数
1,070軒

幼稚園・保育園
育児サークル
養護施設・病院など
33軒

届けた子どもの数
2,666人

※上記記載の支部活動の他、鳥取県では倉吉市社会福祉協議会とパートナー連携を結び、クリスマスのサンタクロース訪問活動を行っています。

05-01.「サンタが来ない」をなくす、ルドルフ基金

日々我慢をさせているから、クリスマスだけでも楽しく過ごしたい。

ルドルフ基金

「ルドルフ基金プロジェクト」は、厳しい環境の中にある子ども達へ無償でサンタクロース訪問とプレゼント提供を行う取り組みです。
「きみのところへサンタさんを連れて行くよ」という思いを込めて、暗闇を照らす赤い鼻を持つ、あの有名な先頭トナカイ「ルドルフ」の名前をつけました。
　2020年は特に、元々不安定な雇用・経済基盤の弱い家庭が真っ先にコロナの影響で経済的なダメージを受け、サンタクロース訪問の内、3分の1以上が生活困窮世帯への訪問となり、例年以上に切実な声が寄せられました。
社会の支えで、一つでも多くの家庭に笑顔の灯をともすこと、それが「ルドルフ基金」の役割です。

→ルドルフ基金実施報告書はこちら

＜2020年度　無償申込み枠にご応募いただいた皆様の声＞

子どもと私は2人だけの家族で、祖父母や親戚もいません。その為いつも仕事ばかりで全く遊んであげられていません。家でもいつも1人で遊んでいます。毎朝保育園行くのを大泣きで嫌がりますが、無理矢理預けて出発する毎日です。本当はもっと甘えたいだろうし、本当はもっと私と遊びたいだろうに、私は仕事で疲れ今を生きるのが精一杯でスキンシップを取る余裕すらない日々で、毎夜今日もダメだったと後悔しています。
その中、このプロジェクトを知り、今年のクリスマスこそはいい思い出を作ってあげたく応募しました。

2歳になり、コミュニケーションも楽しめるようになり、今年はクリスマスのお祝いをしてあげたいな、と思っていた矢先、コロナの件で解雇になりました。まだ、サンタクロースのお話もしてあげたいと思っていたのに…収入減でこの先の見通しも立たず、プレゼントをあげる事すら出来ません。普段、息子には寂しい思いをたくさんさせてしまっているので、せめてクリスマスくらいは他の子のお家同様プレゼントをあげたいと思い、今回のプロジェクトに応募しました。普段は質素な生活を心がけているので、クリスマスは特別の日なんだよと、一緒に祝いたいし、息子の喜ぶ顔が見たいです。

05-02.「サンタが来ない」をなくす、ルドルフ基金

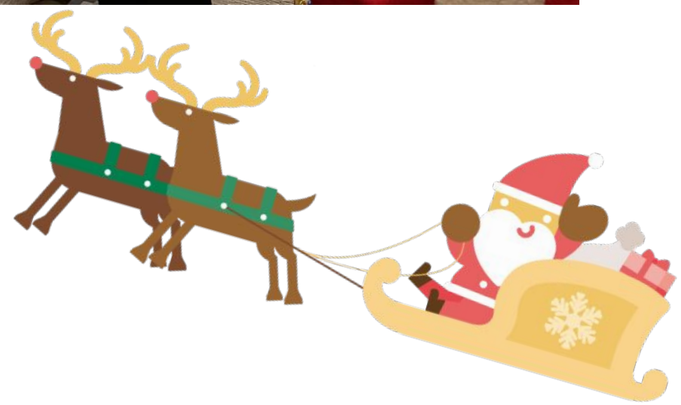
アマゾン/ロクシタンからのプレゼント提供で家族が笑顔に！

ルドルフ基金に寄せられる問合せの一つに「企業として困窮家庭への支援に関心があるものの、家庭にどうアプローチすればいいかわからない」という声があります。2020年度はアマゾンジャパン様やロクシタンジャポン様からプレゼント提供の申し出があり、受け取ったご家庭からも驚きと喜びの声が届きました。クリスマスに直接家庭に向かうサンタクロース訪問活動は、年々、家庭への支援の架け橋としての役割を強めており、世の中から今後の活動拡大が求められています。

・子どもの為にとお願いしたサンタさんから、親にまで、しかもロクシタンの高級なプレゼントをいただけて、ビックリして、同時に必死で1年間生きてきたことを振り返り、神様からのプレゼントの気がして、涙が出てきました。親子で温かい気持ちになれたクリスマスでした。

・Amazonギフトカード、本当にありがとうございました。シングルになり、コロナもあり、本当に金銭的に厳しい中でしたので、本当に有り難かったです。

・今回は「サンタさんどうしよう？」という我が家の悩みを解決していただいたような感じでした。
Amazonギフト券で無事プレゼントも買えました。
本当にありがとうございました。



■無償サンタクロース訪問数　・・・441軒
■無償サンタからの手紙申込み数　・・・522家庭
■体験を届けた子どもの人数　・・・1,524人
■ルドルフ基金への寄付総額　・・・11,340,072円

06. クリスマス前に届く、サンタクロースからの手紙

自由な演出で、家庭のペースでクリスマスを楽しむツールに。

サンタクロースからの手紙は、支部がなく訪問が難しいエリアの子どもたちに「サンタクロースがやってきた体験」を届ける、親子でクリスマスを楽しむ手紙です。一般申込みの収益の一部とルドルフ基金の寄付で、思い出支援が必要なご家庭に対し、手紙を無料で申し込めるクーポンをお届けしています。2020年度は---通分の無償申し込みを受付し、クリスマスの思い出を作るお手伝いができました。

■一般申込み数　・・・137通
■無償申込み数　・・・522件
■事業単独売上　・・・283,300円

■ルドルフ基金への寄付・・・97,000円

※手紙を申込む際にルドルフ基金への寄付を追加して頂いた額

・クリスマスカードが届きました。サンタさんの存在を疑う気持ちも半分ある息子。
手紙を読むなり「これヤバイ。サンタさん、僕のこと見てる」と。。。
みなさまの温かいお心遣いに感謝申し上げます。
すてきなクリスマスをどうもありがとうございました。良い一年の締めくくりができそうです。
また新しい一年も良いことを引き寄せてくれそうな締めくくりです。

・チャリティサンタのお手紙と絵本のプレゼントが、すごく嬉しくて、届いた本を見て涙が出た。

・エアメール（※）にいたく感動していたようです。いつもありがとうございます。

・お手紙が届いてからは親の私でもワクワクさせられた事にとても感謝しております。子どもは鍵を毎日確かめ大事そうにしていて、こんな時間と気持ちを頂けた事に感謝しかありません。

※手紙はエアメール風のデザイン封筒で届きます。

07.「サンタが来る」から「サンタになる」へ

～未来へ送る、サンタからの手紙～

突然のことでびっくりしたかな？
これからする告白は、あのクリスマスの日のできごとです。
大人の仲間になったキミに、あの日のことを話す時がきました。
こころの準備はいいですか？　さあ、はじめましょう！

2014年の12月24日。キミはサンタに会ったことを覚えていますか？
そう、ワタシはあの時の「サンタクロース」。
あの日、キミの家族がキミを喜ばせようとワタシにプレゼントをたくさんして、
それを持ってキミに会いに行ったのです。
でも…実はあれは1軒いくらかのチャリティーをもらうことで、キミだけじゃなく、
東北やネパールの子どもたちも笑顔にしよう、というチャリティー企画だったのです。
それを「ステキだね」って言ってくれたキミの家族が
ワタシたちを呼んでくれたというわけです。

キミの家族がキミとだれかの幸せを願ってくれて、
クリスマスにはたくさんのチャリティーがあつまりました。

そしてそのチャリティーで
東日本大震災を経験した子どもたちとネパールの子どもたちに
「未来への希望」と「笑顔」をプレゼントすることができました。

キミがこの手紙を読んでいる頃には、
あの子どもたちも、未来をつくる若者として成長しているでしょう

サンタがキミのおうちに来たあの日。キミの家族や、実はキミ自身が
東北やネパールの子どもたちのサンタになっていたのです。
キミを喜ばせたいと願う家族、そしてなにより キミがいたから
世界中の子どもたちへ「笑顔というプレゼント」を届けることができました。
本当に、本当にありがとう。

今キミにとってサンタクロースはどんな存在ですか？
ワタシはキミのサンタになって、
キミとキミの家族や東北やネパールの子どもたちと出会えて気づきました。
「だれかを笑顔にしたいって気持ち」が「サンタクロース」なのかもしれないって。

大きくなったキミへ　2014年のサンタクロースより

ご家庭から届いたサンタクロース卒業のエピソードは
サンタ新聞WEB版でお読みいただけます。

初めてチャリティーサンタにご依頼いただいたご家庭には「未来の手紙」を郵送しています。
この手紙は、やがて訪れる子どもたちの「サンタクロースを卒業する日」にお渡しいただく為の手紙。
私たちが考える「サンタクロース」とは、子どもを大切に思い、笑顔にしたいと思った人たちの「優しい気持ちの集まり」です。
いつの日か子どもたちが、自分自身の大切な人と出会い「サンタクロースが来る」側から「サンタクロースになる」側になった時、誰かの笑顔の為に行動できる幸せを、きっと体験することでしょう。
そして、かつての子どもたちが、チャリティーサンタの活動に参加してくれる日を、私たちは心待ちにしています。

＜2020年度＞
■サンタ卒業報告　　2件
■サンタになった子ども達　0支部　0名

一　子どもたちは、遅かれ早かれ、サンタクロースが本当はだれかを知る。知ってしまえば、そのこと自体は他愛のないこととして片付けられてしまうだろう。しかし、幼い日に、心からサンタクロースを信じることは、その人の中に、信じるという能力を養う。わたしたちは、サンタクロースその人の重要さのためでなく、サンタクロースが子どもの心に働きかけて生みだすこの能力ゆえに、サンタクロースをもっと大事にしなければいけない（中略）心の中に、ひとたびサンタクロースを住まわせた子は、心の中に、サンタクロースを収容する空間をつくりあげている。サンタクロースその人は、いつかその子の心の外へ出ていってしまうだろう。だが、サンタクロースが占めていた心の空間は、その子の中に残る。その空間がある限り、人は成長に従ってサンタクロースに代わる新しい住人を、ここに迎えいれることができる。
こぐま社「サンタクロースの部屋」より

08. ブックサンタ2020～過去最高の2万冊の絵本が集まりました～

新型コロナの影響で、子どもの体験不足を懸念する寄付者が増加

ブックサンタ2020では、絵本の寄付ができる書店のエリア36都道府県307店舗に拡大、クラウドファンディングには昨年の**約4倍**の**8,449,777**円のご支援が集まりました。
2021年は子ども食堂やひとり親支援団体を通じて支部の無いエリアの子ども達にも絵本を届けるよう活動の幅を拡げ、合計で14,009冊を子ども達に届けることができました。
本年度ご寄付いただいた絵本の総数は、**当初目標1万冊に対して、20,376冊**が集まり、社会の関心の高まりを実感しています。

昨年夏に学生さんたちが、まちかどライブラリコーナーを作り、図書館などから不要になった絵本などの寄贈本を集めてもってきて設置してくれています。自由に本を読んだり、借りることができます。
　でも、今回は、**プレゼントの新しい絵本**、それも有名な本がいっぱい、ひとり一冊持って帰っていい、というのは初めてです。みなさん、本当にいただいていいんですか？すごい、どれにしよう、と目を輝かせて親子で選んでいました。チャリティーサンタさんというところから贈ってもらった絵本です、と説明しました。おうちに帰って、何度も何度も読んでくれることでしょう。
　実は、来ている子ども達の中には、ひとり親家庭だったり、コロナ渦で職がなくなったり、障がいがあるお子さんだったり、生活が大変な子育て家庭の子たちがいます。プレゼントをお渡しできて、笑顔で喜ぶ子ども達を見て、私たちもうれしく思います。
　寄贈していただき、本当にありがとうございました。　　＜絵本を配布頂いた子ども食堂さんからの感想＞

絵本の保管場所として「ブックサンタ ライブラリー」を新設

絵本の寄付は、クリスマス当日の前後に最も集まるため、クリスマスを過ぎて書店から私たちの元に届いた絵本は、来年まで大事に保管されています。
昨年予想以上に集まった絵本は従来の倉庫から溢れてしまったため、新たな保管場所として「ブックサンタ ライブラリー」を新設することになりました。

09.被災地サンタプロジェクト ～災害に対してサンタクロースができること～

豪雨で被災した熊本県人吉市の幼稚園に絵本を寄贈しました。

梅雨時期の豪雨により、毎年全国どこかの地域で災害が発生しています。
被災地サンタプロジェクトでは、災害により被災した保育園・幼稚園などに絵本を寄贈しております。
2020年は、熊本県人吉市の幼稚園に絵本をプレゼントさせていただきました。
被災された皆様の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

活動報告

■寄贈した絵本　・・・1冊
■寄贈した園　　・・・1園

サンタさんからのプレゼント！何かな何かな～♪
箱を開けるなり大歓声！！
絵本に目を輝かせ、手に取り絵本を楽しむ姿がありました！
一冊ずつ持ち帰って良い事を伝えると、大喜びで選び、友達と話し合って交換し合う場面もありました。大事そうに持ち帰る姿がありました。種類も豊富で、年齢層に合わせ幅広く、選ばれた絵本全て素敵な絵本ばかりで驚きました。
一冊一冊、丁寧に個包装してあり、ラベルまで貼って頂いており、チャリティーサンタ様の思いが伝わって参りました。保護者におかれましても、1人1冊の絵本のプレゼントに驚かれ、喜ばれておりました。今回、このようなご縁を頂きましたことを、大変感謝しております。有難うございました。

10.福島生き×活きキッズツアー　～忘れない、3.11～

コロナで再び失われた外遊びの機会。大切にした福島との「つながり」。

2013年以降、欠かさず実施してきた福島生き×活きキッズツアーも、本年度は開催中止の判断を致しました。しかし、ただ中止にするのではなく、少しでも楽しい時間や人とのつながり・安心を感じてもらう「オンライン企画」として、福島の子ども達と再会しました。

ツアー受入地域である岡山県上山集楽のことを思い出してもらえるよう、棚田の風景をライブ配信で一緒に見たり、実際に収穫されたお米を使って一緒におにぎりを食べたりしました。子ども達や保護者からは「新型コロナが落ち着いたら、岡山へ遊びに行きたい」との声が上がりました。直接会えなくても、福島への想いを届けることはできます。いつか落ち着いてみんなでまた会える時まで、工夫をしながら福島の子ども達へ働きかけられればと思います。　（岡山ツアー担当：舟井）

広島のキッズツアーでは、自然体験の他に毎年原爆ドームを訪れ、平和学習を行なっています。今年はオンラインで、昨年ツアーに参加してもらった子ども達とつながり「おりづるタワー」で作った折り鶴のことを思い出しながら、新しく折り鶴を作り、広島に送付してもらうという企画をしました。
後日親御さんから感想をいただき、ツアーに参加していなかった兄弟と一緒に折り鶴を折って送ってくださったことや、このような状況の中、思いがけず素敵な思い出ができたことを子ども達もとても喜んでいた、と感想をいただきました。
（広島ツアー担当：河合）

＜注）上記写真は2019年のツアーの時のものです＞

11.Santa Mothers Dreams ～ネパールのお母さんと作るフェルト人形～

Santa Mother’s Dream（=以下、SMD）は、プロジェクト開始から5年が経ちました。ネパールの母たちのため、ひいては子ども達の笑顔のために、と生まれたこのプロジェクトですが、これまでの「サンタクロース型のマスコット人形」から、「季節に関係なく通念販売できるマスコット人形」の制作にシフトするため、クラウドファンディングを立ち上げました。

現地リーダーを務めるミナとの出会いから始まり、日本でもネパールでも共通する「母たちの願い」を叶えるべく、一歩一歩歩みを進めてきたSMD。その5年間のストーリーをクラウドファンディングページで綴り、結果として140名の方から231万円の寄付が集まりました。集まったご寄付は、今後のSMD事業の発展のために、大切に使用させていただきます。

※ネパールのミナとクラウドファンディングの支援者をオンラインで繋いで報告会を実施しました。

12.「体験」が子どもたちに与える効果

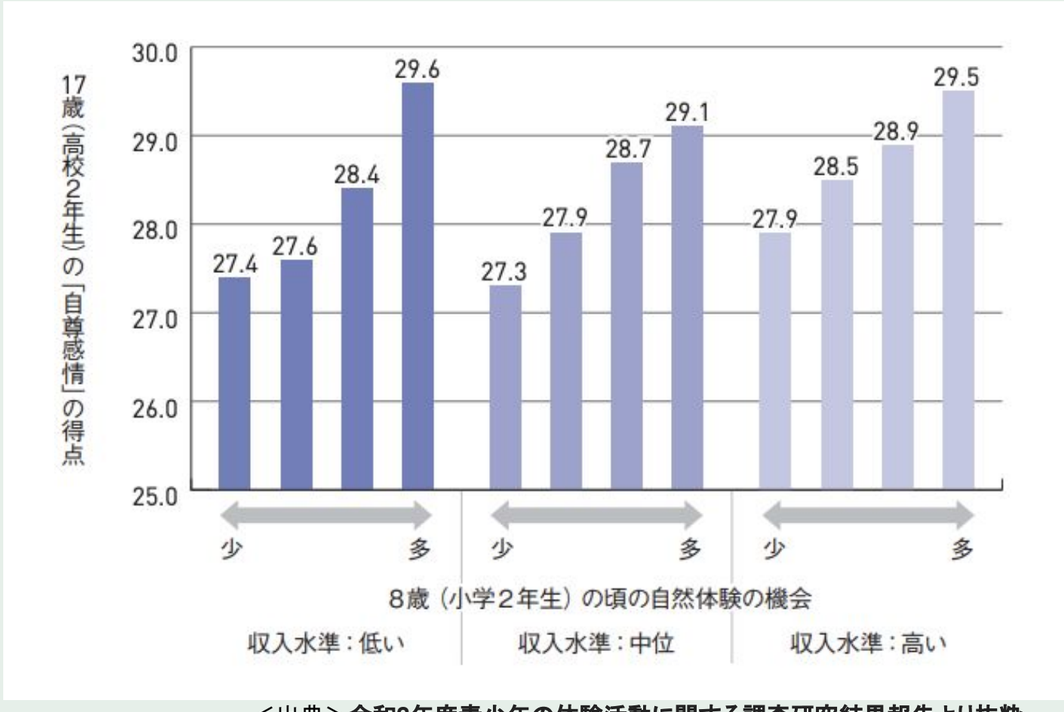
子ども達の自己肯定感を育む「多様な体験」の提供は、社会の役割。

世界中の、ほとんどすべての子ども達にとって、2020年は体験の機会を制限され、それによって「あるはずだった思い出」が失われたと言えます。限りある子ども時代に経験する様々な出来事は、子ども達の心の成長に大きく影響があり、数多くの体験と幸福な思い出の記憶が、子どもの健やかな心を育て、大人になった時の人生の支えになる一。大人になった私たちは、そのことを体感的にわかっており、新型コロナによって子ども達が置かれている状況がいかに理不尽なものであるかを想像することができました。

2020年、チャリティーサンタの主幹事業であるサンタクロース訪問は、活動縮小の方針を取りましたが、社会からは子ども達のクリスマスを心配する声が上がり、沢山の支援や後押しがありました。経済的な事情や環境の変化で、クリスマスをお祝いできない家庭が増加する事は想像に難くなく、足りない部分を補うように社会が「クリスマスの担い手」であろうとする動きが、ブックサンタの2万冊寄付などにつながったものと思います。
クリスマス終了後、ご家庭からは「何もかも中止になったからこそ、チャリティーサンタの活動がありがたかった」という声をいくつもいただきました。

子ども達への「体験の機会の提供」は、社会全体が担うもの

2021年9月、文部科学省が2万人以上の子どもを0歳から18歳まで追跡調査したデータを用いて、子どもの頃の「体験」がその後の成長に及ぼす効果を分析した研究結果を発表しました。
この調査により、子どもの頃に体験活動の機会に恵まれていると、高校生の頃の自尊感情が高くなる傾向があることが明らかになりましたが、注目すべきは、その傾向は家庭の経済状況には左右されない。という点でした（左図参照）。
しかしながら、親が子どもに様々な体験を与えたくても与えてあげられない要因は家庭の経済状況単独の問題ではなく、チャリティーサンタが調査する中でも「親の“時間”や“体力”」の負担が大きいことがわかっています。調査結果では全ての子どもたちが様々な体験にチャレンジ できるよう、社会全体で子ども達の成長を支えましょう、と提言されており、家庭と地域が



＜出典＞令和2年度青少年の体験活動に関する調査研究結果報告より抜粋

連携を深め、子ども達の健やかな成長のために協力することが必要だとわかります。少子化・核家族化・世帯の少人数化が進む現代において、親の負担を軽減し、未来を担う子ども達の成長を支える事は、**社会全体の役割**であると言えます。

13.企業との連携事業

チャリティーサンタでは、民間企業と活動連携を行うことで、企業の持つビジネスノウハウやネットワークを活かしたルドルフ基金への募金・社員のボランティア活動参加促進など、企業のCSR活動支援を行なっております。私たちはこの活動により、社会のより多くの大人が子どもを取り巻く社会課題に気づき、課題解決の当事者として活動する機会を創出することを目指しています。

事例紹介

・社員に対するサンタボランティアへの参加促進活動（寄付呼びかけを含む）
・クリスマスの寄付つき商品の販売やイベントの実施
（収益金の一部又は全部をのチャリティーサンタの活動またはルドルフ基金へ寄付）
・チャリティーサンタを通じて困窮家庭へ贈るプレゼント寄付

※民間企業のSDGs活動やCSRの取り組みとしてチャリティーサンタと連携・協働頂き、自社社員のボランティア活動参加促進、寄付活動への参加促進にご協力いただきました。

連携企業様のご紹介（敬称略）　連携実績数：13社

アマゾンジャパン合同会社
株式会社北海道日本ハムファイターズ
ロクシタンジャポン株式会社
株式会社アンデルセン
ヤフー株式会社
シスコシステムズ合同会社
NTTコミュニケーションズシャイニングアークス
ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社
株式会社城野（名古屋駅前モンブランホテル/名古屋伏見モンブランホテル）
NEC Corporation
GIC
富士ゼロックス東京かけはし倶楽部
株式会社ありがとうファーム　多機能型事業所

14.自治体との連携事業～おかやま親子応援メールアンケート調査より～

チャリティーサンタが得意とする「特別な思い出づくり」の活動を活かし、「子どもの貧困」問題に対して手が届きにくい「体験と思い出」の個別支援を行政と協働で行なっています。体験活動という家庭が参加しやすい手法をとることで、支援を要する親子が地域や社会から孤立してしまう前に支援の手が届くネットワークを生み出したいと考えています。

事例紹介 ～新型コロナで困りごとや不安への影響があった家庭は88%～

チャリティーサンタはコロナ禍の親子を支えるNPOのネットワークプロジェクト「おかやま親子応援プロジェクト」に参加しました。プロジェクトでは、岡山市より日常生活に困難を抱えるひとり親家庭や生活困窮家庭に対してのメールマガジン配信事業（おかやま親子応援メール）を受託し、チャリティーサンタは配信担当として、情報を届けるネットワーク作りに取り組んでいます。各家庭がメールマガジンに登録する際のアンケートでは、新型コロナによる影響（困りごとや不安）について「大きくあった」「多少あった」との回答が88%を超え、元々の生活困窮世帯が今回の新型コロナによって、さらに窮状が悪化したことが伺えました。その一方で自由記述欄では「支援を受けづらい」と感じる理由も示されており、支援団体が支援の在り方を検討するための貴重な意見を得ることができました。

「問い合わせが平日の夕方までだったりして、収入が減る事を考えたら、そのために仕事は休めないです」

「お弁当配ります、という案内もありましたが自転車行動なのでなかなかどこかへ出向いて支援を受けるのも大変です」

「もっと困っている人がいると思うと受けづらい。自宅に食品や日用品が届くと嬉しい」

「支援を受ける事に対して、周りの人にあまり知られたく無いです。イジメの原因になる可能性もあると思っています」

「ひとりで子育てしているので認められないと相談しにくいと感じている。支援や助けを頼るとことが、子育てをきちんとできてないと評価されるのではないかと思ってしまう」

＜支援を受けづらいと感じる主な理由＞

支援を受けるための条件が厳しい
手続きが複雑
情報の把握が困難
支援窓口まで行くことが困難
支援を受ける事に気が引ける
人の目が気になる
自分にあった支援を受ける事が難しい
コミュニケーションが難しい

出典：おかやま親子応援メールアンケートより

15.メディア掲載実績

「コロナ禍でもサンタは来る」。社会への発信が寄付の後押しに。

2021年はブックサンタを中心にテレビ・紙媒体・WEBニュースなどあらゆる媒体でチャリティーサンタの活動を取り上げて頂きました。特に「コロナ禍でもサンタは来る」と、生活困窮世帯や闘病中の子ども達を応援するような記事や情報発信が数多くあり、それを目にした一般の方がクリスマス直前までブックサンタに参加→SNSで発信→寄付の増加という、情報発信の好循環が起こり、ブックサンタの絵本の寄付数は過去最大となりました。

媒体	掲載数	概要
テレビ	6	NHK（全国・首都圏・仙台・名古屋）、テレビ朝日（全国）、サガテレビ
新聞	25以上	朝日新聞×2、毎日新聞×2、読売新聞、日経新聞、東京新聞×2、中日新聞、山陽新聞×2、共同通信（熊本日日新聞、高知新聞、佐賀新聞、千葉日報、大分合同新聞、東京新聞、富山新聞、福島民報、北海道新聞、沖縄タイムス、宮崎日日新聞）など ※一部割愛
ラジオ	多数	取材や出演は数回。リスナー投稿や番組パーソナリティによる紹介が多数あり。
WEB	30以上	新聞社のWEB記事をはじめ、各地でみんなの経済新聞に掲載。ヤフーニュースへの転載も多数。人気メディアTABI LABOや人気ユーチューバーによる投稿も。

16-01.活動協力・連携団体のご紹介

全国の子ども食堂運営団体との活動連携を開始。

チャリティーサンタの支部があるエリア以外の子ども達にも、クリスマスの特別な体験とプレゼントを届けられるよう、全国の子ども食堂運営団体に呼びかけをし、ブックサンタで集まった絵本を寄贈させていただきました。コロナにより、子ども食堂も閉鎖や活動自粛などが続く中、「子ども達に笑顔になってもらいたい」と各団体が趣向を凝らし、フードパントリーのBOXに加えたり、熱の入ったクリスマス会を企画したりと、団体同士の協働で支援の力・子ども達の笑顔に働きかける力が大きくなることを実感できた連携事業でした。

クリスマス会で子ども達にサンタさんからのプレゼントとしてお渡しいたしました。当日は市長や市議会議長が来賓として参加していただき、サンタクロースの衣装を身にまとい、子ども達ひとりひとりの名前を呼んでいただきお渡しして下さいました。絵本は包装紙に包みお渡ししたのですが、受け取った子ども達は中身が気になりすぐに開けて、驚きと喜びの様子でいっぱいでした。
参加されたお母さん達は全員ひとり親家庭のため、1冊 1000円近くする絵本はどうしても高価であり、購入することを躊躇すると話されていました。**「絵本はなかなか購入することができないため、本当に嬉しかった」「字を覚えたてなので子どもと読めることが嬉しいです」との声をいただくことができました。** 子ども達がサンタさんからいただいた本を大切そうに抱きかかえ親子で帰られる姿は、コロナ禍の中このクリスマス会を開催して良かったと心から思える瞬間でした。
たくさんの方々のご寄付でた絵本をいただけたことを心から感謝申し上げます。

フードパントリー開催時に、クリスマスプレゼントとして手渡しました。間に合わせて送っていただきありがとうございました。どれも良い本を選んでいただいていることがわかりました。事前に保育士が申し込みのこどもの年齢に合わせて、絵本を選択し、 1冊づつこどもに手渡ししました。パントリー参加者がチャリティサンタ申し込み時より増加し、 1世帯に1冊のみの配布となりましたが、双子ちゃんには、それぞれ 1冊づつ渡しました。
「新品の本！」と喜ぶこどもや、嬉しそうに、絵本の表紙をなでて「へ～！！」と思わず声がでるこども、「帰ってから読もうね」とこどもに語りかける親などほほえましい姿をたくさん見ることができて、スタッフ一同大変嬉しく思いました。
今年は、経済的に厳しい環境にいる子育て世帯にこども食堂に代わりフードパントリーやお弁当配布を行いましたが、直接こどもたちにプレゼントは今回が初めてで大変喜ばれました。

16-02.活動協力・連携団体のご紹介（敬称略）

特別協力

NPO法人しんぐる・まざぁず・ふぉーらむ/株式会社西濃運輸 木更津支店

【ブックサンタご協賛企業】
日本出版販売株式会社/大日本印刷株式会社

【ブックサンタご協力企業】
有限会社一進堂/株式会社いまじん白揚/株式会社大垣書店/株式会社積文館書店/大日本印刷株式会社/日本出版販売株式会社/ブラス株式会社/株式会社丸善ジュンク堂書店/株式会社リブロプラス/株式会社Y・space/印刷工業会 出版印刷部会 PAJらぶっく/株式会社ダッドウェイ/株式会社ふたば書房/株式会社未来屋書店/株式会社モラブス

プレゼント配布協力

しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道/NPO法人Learning for All/ひとり親パートナーズ/公益財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会/シングルペアレント101/フードバンク熊本/しんぐるまざあず・ふぉーらむ出雲/女性の社会生活活動部フルード/フードバンク調布/認定NPO法人スマイルオブキッズ/認定NPO法人インクルいわて/NPO法人フードバンクTAMA/NPO法人えがおプロジェクト

絵本の寄贈先団体として、新たに65の子ども食堂運営団体が参加

【絵本を寄贈させていただいた子ども食堂運営団体一覧】
つるがやこども食堂/特定非営利活動法人　せいじゅん　たすけあい　こども食堂/せんだいこども食堂/にこにこ食堂/子ども食堂ひまわり/ホットほっとタイム子ども食堂/ピースこども食堂/ひなたでごはん/ころころ食堂/心の子どもごはん/こども食堂青空/特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブてとて/ヒューマン・ハーバーこどもカフェ/NPO法人Kodomo Saijo/八幡学区社会福祉協議会（はちまん子ども食堂）/アイビーの庭/よこすかなかながや/みんなの食堂Flat/特定非営利活動法人ささしまサポートセンター　/新宿こども食堂　たんすまち/テンプル食堂よしざき/団欒長屋プロジェクト/山鹿こども食堂百華/社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会/子育て支援サークルあそびのいっぽ/五月晴れ/子ども食堂おひさま/みんなのふくろう食堂/NPO法人らいおんは一と/山形てのひら支援ネット/子ども食堂平野学区 のぞみ/ひまわりキッチン/特定非営利活動法人　おりざの家/アール・ツゥふれあい食堂/特定非営利活動法人キッズ未来プロジェクト/幸町陽気こども食堂/コスモナレシピ/宇和島市NPO大好き宇和島/豊洲こども食堂/宮城野子ども食堂/NPO法人dたからづか子ども食堂/スマイル♡こども食堂浦安/NPO法人シェイクハンズ/みんなのえがお　おたまちゃん食堂/みんなのごはん/キッズカフェ杉田/にながわふれあい子ども食堂/ぬくぬくの家/かぐやこども食堂/やかみっこキッチン/たばたんボランティアグループ/わせだ子ども食堂/クレエール子ども食堂/NPO法人木と風の香り/坂東市生活学校こども食堂/特定非営利活動法人福祉サポートセンター山形/だがしカフェ夢はうす/さいたま子ども食堂/イマココ子育て支援/ぽかぽかこども食堂/天童市母子寡婦福祉連合会/夕方からの居場所づくり/あつまれ前橋スポット/おびひろ子ども食堂/特定非営利活動法人U.grandma Japan

17.2020年度 寄付受付結果のご報告

2020年度に皆さまからいただいたご寄付は、下記の通りです。（現物寄付/活動協力を除く）
皆さまの深いご理解とご協力を賜り、ご支援を頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

寄付受付総額：20,833,762円

（内、ルドルフ基金へのご寄付　11,340,072円）

ご寄付・ご協賛企業/個人の方（敬称略）掲載の許可をいただいた方のみ

【活動運営費へのご寄付】
佐藤 和宏/武井 浩三/有賀 洋一郎/松井 道子/永里 麻由/渡邉 央/吉村 有正/小湊 竹茂/堀行 丈治
横山 昌子/高橋 夏江/大橋 賢士/野村 正人/鈴木 萌子/加藤 憲史/北村 つかさ/橘　啓子/島本 淳史/藥師 実芳/加納 千絵子/川島 加奈惠/鈴木 崇之/渡部 幸男/駒井 邦彦/北山 義人/野田 裕貴/馬場 一明/村嶋 詩織/中嶋 絹代/市川 雅敏/西村 直也/奥井 啓介/河原 光/坂井 勇太/長谷川 直輝/小林 和子/木下 晴代/津田 真弓/神谷 順子/佐賀野 真一/西村 歩/東道 幸弘/西村 直也/佐藤 麻子
山下 広治/石光 映美子/萩原 なぎさ/落合 エリカ/工藤 実柊/小西 陸斗/新谷 由起子/今村 沙織/片桐 慎也/髙橋 均/内藤 菜央子/佐藤 信彦/野下 美幸/山内 真由/井上 真美子

SAFARI Architect合同会社

【ルドルフ基金への寄付】
鈴木 孝彦/山川 ふみ/山口 憲生/田代 一馬/石本 雄真
浦井 善樹/朴井 義展/丹田 摩由美/重岡 伶奈/松岡 亜矢子/太田 礼子/藤井 由紀子/梅田 裕子/松本 千佳子/佐々木 潤/木下 泰幸/佐々木 亮子/高橋 利枝/吉本 浩樹/岩井 厚樹/甲斐 信也/杉浦 真理子/加藤 彩子/山田 俊輔/小椋 亮/大塚 千鶴子/上原 耕一/内山 真理子/松村 伊万里/森 真季/青木 江三子/下村 将基/谷口 陽子/髙木 誠一郎/石川 啓/二俣 一二三/田口 伸一/外京 有美子/松山 真紀子/高野 加代/泉 恵子/森田 秀之/松下 淳一/藤井 武夫/西村 直也/岡崎 淳司/小出 雅之/寺内 宏光/平田 富樹/大賀 千恵/寺井 文雄
木下 かおり/中村 俊介/井上 光幸/岡部 友理子
松下 美恵子/山本 亜美/にしおか ふうま/西谷 志朗/中村 洋平/渡邉 良子/吉田 卓晃

株式会社TED/株式会社 Global Bridge Trading

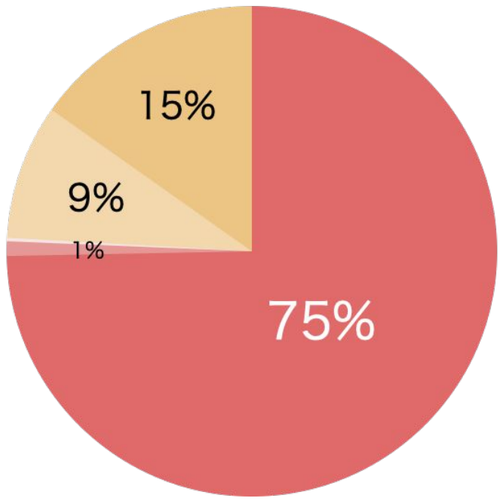
【ブックサンタ アンバサダー】
筑紫 彩子/玉置 敦子/小野 雅也/武井 築/市川 啓太/中畑 稔/八木 真理子/岩佐 きぬ子/鴨志田 明恵/布川 葉月/北村 亜以/妹尾 恵美/三上 哲/久山 葉子/島倉 大/工藤 紀子/但馬 健一/齋藤 美香/生田 大五郎

【寄付金控除に関して】「認定NPO法人」へのご寄付は確定申告の際に所得控除や税額控除を受けられます。多くのお問合わせをいただいておりますが、NPO法人チャリティーサンタは2020年度現在、認定NPO法人となっておりませんので当団体への寄付金は税額控除の対象とはなりません。
只今認定取得の準備を進めている最中ですので、最新情報は公式HPにてお知らせさせて頂きます。

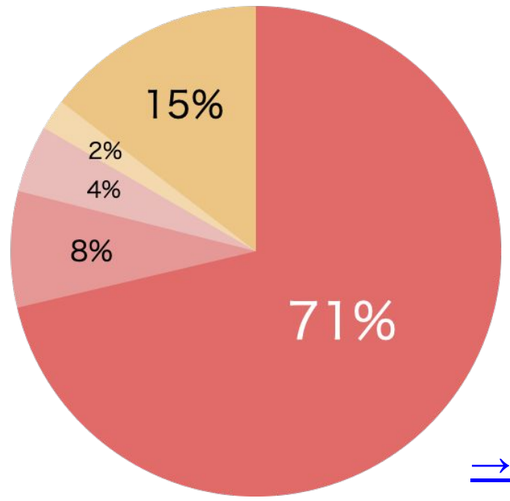
18.2020年度会計報告

チャリティーサンタでは「子どものために大人が手を取り合う社会」を目指し企業や団体との連携に注力しています。2020年、活動の縮小を余儀なくされましたが、弊団体に寄せられた寄附金の額が昨年の1.5倍になるなど、クリスマスの担い手に対する社会からの期待が大きかったことが会計部門からも伺えました。2020年度に得ることができた基盤をもとに、さらに子どもたちに必要な体験を届けていきます。

収入の部



支出の部



- サンタクロース訪問事業
- チャリティーグッズ事業
- 子どもの体験活動支援
- 社会参画推進事業
- 調査・研究事業
- 法人管理費

→2020年度の活動計算書・事業報告書で見る

収入の部

科目	サンタクロース訪問事業	チャリティグッズ事業	子どもの体験活動支援事業	市民の社会参画推進事業	調査研究事業	管理費	合計
Ⅰ経常収益							
1. 受取会費	−	−	−	−	−	965,000	965,000
2. 受取寄付金	20,833,762	−	−	−	−	2,165,748	22,999,510
3. 受取助成金	148,494	−	−	−	954,483	−	1,102,977
4. 受取補助金	1,410,000	−	−	−	−	−	1,410,000
5. 事業収益	2,567,300	326,000	−	75,000	2,066,500	−	5,034,800
6. その他収益	323,200	−	−	−	−	2,014,848	2,338,048
経常収益計	25,282,756	326,000		75,000	3,020,983	5,145,596	33,850,335

支出の部

科目	サンタクロース訪問事業	チャリティグッズ事業	子どもの体験活動支援事業	市民の社会参推進事業	調査研究事業	管理費	合計
人件費計	9,625,444	871,042	1,338,212	−	633,307	1,256,112	13,724,117
その他経費計	12,430,076	1,497,576	33,245	−	−	3,248,391	17,209,288
経常費用計	22,055,520	2,368,618	1,371,457	−	633,307	4,504,503	30,933,405
当期経常費用増減額	3,227,236	−2,042,618	−1,371,457	75,000	2,387,676	641,093	2,916,930